

北海道 中空知(なかそらち)圏の3市2町の消防広域化 さらなる安心・安全の構築へ

北海道 滝川地区広域消防事務組合

1 滝川地区広域消防事務組合の概要

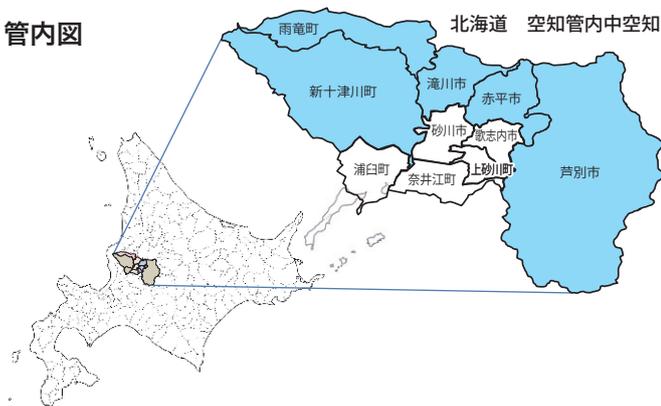
滝川地区広域消防事務組合は、昭和47年、滝川市、新十津川町、雨竜町の1市2町で一部事務組合を組織し、42年間消防行政を進めてきましたが、平成26年4月、芦別市及び赤平市が構成市町となり、現在は3市2町により消防事務の共同処理を行っています。

管内は北海道のほぼ中央部に位置し、管内面積は約1,797km²と東京都(島しょ部除く)とほぼ同じであり、その地勢は南東方向に広大で、およそ70%が林野に囲まれた自然豊かな地域であり、基幹産業は主に農業で北海道有数の米どころでもあります。

道都札幌市と道北の拠点旭川市のほぼ中間地点であることから、5本の国道幹線道路を有し、特に消防本部所在地の滝川市は北海道の大動脈ともいえるJR函館本線及び国道12号線が縦貫、JR根室本線及び国道38号線がここから分岐、さらには道央自動車道が縦貫しており中空知交通の拠点であります。また、北海道名物「ジンギスカン」発祥の地としても有名です。

管内人口は約7万9千人、1本部、3消防署、2支署、3分遣所を配置し、職員数172人で災害に対応しています。

管内図



2 広域化に至る経緯

北海道は平成20年3月に「北海道消防広域化推進計画」を策定し、道内を第二次保健医療福祉圏の21圏域を設定し、中空知全域を広域化の規模とし、平成24年度までを目標とした市町の自主的な消防の広域化を推進することとしました。

平成21年に滝川地区、赤平消防及び歌志内消防で広域連携について勉強会を行いました。広域連携の必要性を感じながらも、消防救急デジタル無線整備の動向もあり進展には至りませんでした。平成23年8月、滝川地区と赤平消防、同年10月には芦別消防も含めた3市2町による協議が再開され、消防広域化の検討に関する基本方針が確認されました。これを受けまして消防広域化検討体制を設立、市町長会議、副市町長・消防長会議、専門部会調整会議及び専門部会において諸種の問題解決のため協議を重ねてまいりました。

2年におよぶ協議のうえ、平成25年8月に、「滝川地区広域消防事務組合広域消防運営計画」を策定、同年10月、3市2町長により消防広域化協定書に署名調印並びに北海道知事より組合規約の変更も許可され、平成26年4月1日、新「滝川地区広域消防事務組合」として組織運営する運びとなりました。



平成25年10月 消防広域化協定書調印式
(左から、植田新十津川町長、清澤芦別市長、前田滝川市長、高尾赤平市長、藤本雨竜町長)

3 広域化の効果

新たな出動計画において火災発生時に出動車両が増加し、初動体制が強化されたことや救急事案輻輳時において隣接署への出動要請により、救急救命士の同乗した質の高い救急活動が可能となり、それに伴う所属体制整備に係る職員招集等の負担が軽減されたことが挙げられます。

また、消防広域化による消防署所の整備においては有利な財政措置により滝川（消防本部併設）、芦別、赤平の各消防署庁舎建設が可能となり体制の充実強化が図られるとともに、現在、各署で対応している通信指令業務を平成29年度消防本部庁舎開庁と同時に統合することとしていますが、指令の一元化を行うことで消防活動が強化され現場への到着時間を短縮することが可能となるほか、余剰人員について現場活動要員の増員または削減が図られます。



平成26年6月13日
滝川市で開催された消防広域化記念組合演習の様子

4 今後の課題

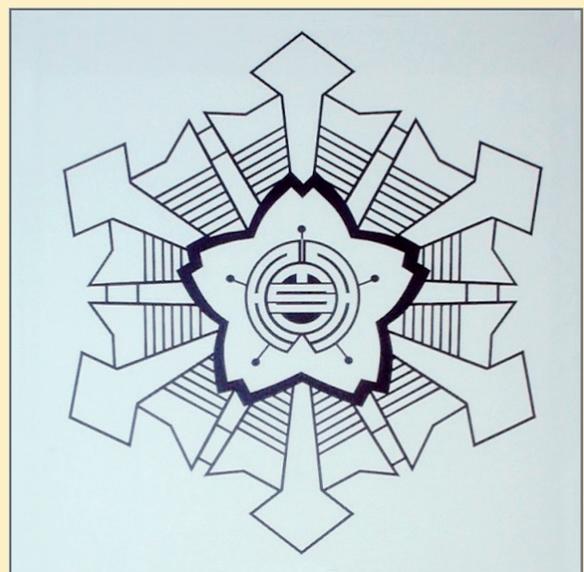
新組合が発足してからまだ1年も経たない時期ですので、日々、調整がある状況であります。とりわけ予定している通信指令業務の統合時における余剰人員については様々な観点で検討を行い適切な人事管理が必要であります。また、効率的な予算執行を図る必要性から車両や資機材の整備計画、さらには芦別、赤平署職員の身分、給料の一元化についても継続して検討し調整を図る必要があります。

5 おわりに

当組合においては急速な過疎高齢化が今後も進むことが予想されるなか、将来を見据えた適正な消防力の配備が求められる一方で、近年の自然災害をはじめとする災害の多様化などに対応するためには広域化のスケールメリットを活かした強力な体制の下、的確に活動する住民ニーズも高まっています。

このようなことを踏まえ、今後においても構成市町及び関係機関との連携を強化し、組織一丸となってさらなる地域住民の安心・安全を構築していきます。

新たに一般公募にて決定した滝川地区広域消防事務組合紋章



従来 of 構成市町の滝川市・新十津川町・雨竜町の頭文字（英語）T.S.Uに、新たに構成市となった芦別市・赤平市の頭文字（英語）Aを左右対称（円形）にしてT.S.Uを囲み側面からの強化、輪をもつての融和・協調性・団結を表し、またAとAの下部を末広がり（に）カットし飛躍・発展を表現しています。